

1. 川甚跡地活用における概要

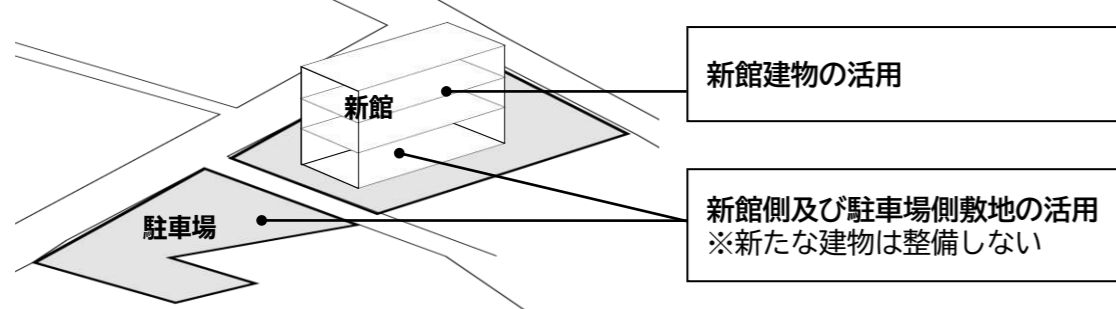
(1) 川甚跡地の取得について

- 川甚跡地は、葛飾区柴又公園の拡張用地として取得予定。
- 「葛飾柴又の文化的景観」の重要な構成要素として、川甚とともに、山本亭、寅さん記念館、山田洋次ミュージアム、堤防、江戸川河川敷、矢切の渡し、江戸川が位置づけられている。つまり江戸川・河川敷・堤防、堤防に沿った堤内地が一体として「葛飾柴又の文化的景観」を維持する上で重要な空間となっている。
- 山本亭を含む柴又公園は、文化財の保護・活用を目的とした歴史公園として整備されており、今回区が取得した川甚跡地についても、一体性を担保して重要な構成要素としての評価を減失させず、かつての川魚料亭の記憶を伝える生簀なども活かしながら、この「場」が有する歴史的特性を後世に継承し、観光地柴又の賑わいを創出する装置として整備活用するもの。



名称：柴又公園 面積：51,670.09㎡ (公園区域)14,857.25㎡ (河川区域)36,812.84㎡	計画変更区域(予定) 川甚跡地 住所：葛飾区柴又7-10.柴又7-19 面積：約3,392㎡
--	---

【川甚跡地活用の考え方(イメージ)】



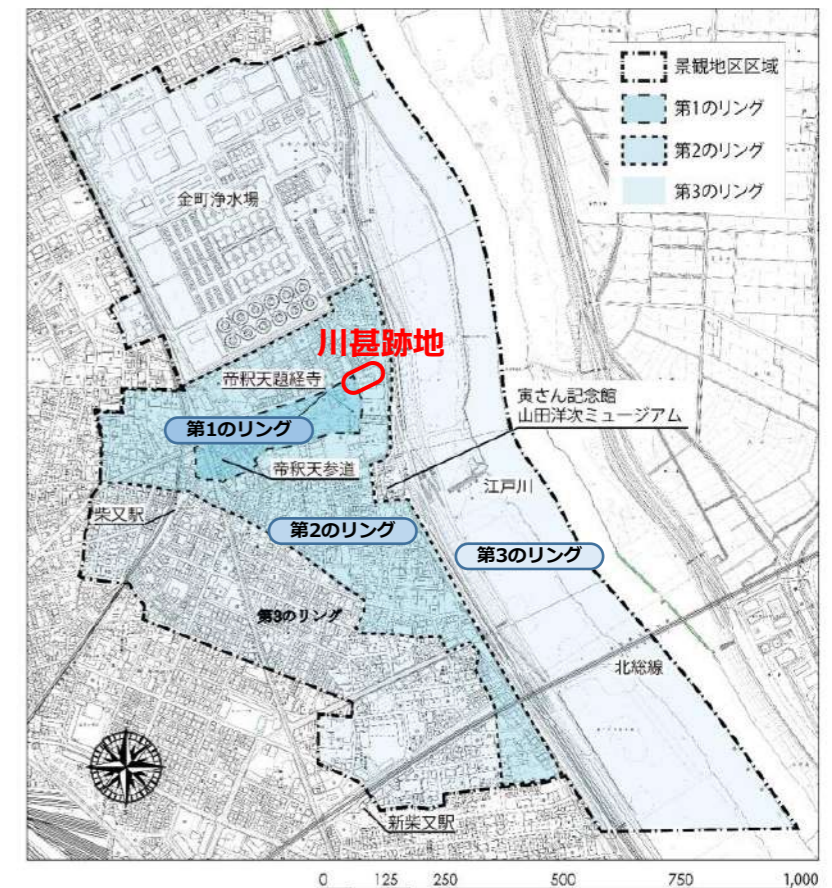
(2) 川甚の位置づけ

- 「葛飾柴又の文化的景観」の「第2のリング」内に所在
- 「重要な構成要素」として「敷地の形状」を位置付け(駐車場部分は含まれない)

【葛飾柴又の文化的景観の概要と川甚の位置づけ】

■「葛飾柴又の文化的景観」の空間構成

- 第1のリング**
「帝釈天題経寺及び門前からなる空間」
- 第2のリング**
「帝釈天題経寺及び門前を支えたかつての農村部(微高地)空間」
- 第3のリング**
「大都市近郊の低地開発の歴史を伝える空間」



■「葛飾柴又の文化的景観」の特徴と価値

- ①江戸・東京と房総・北関東という2つの流れが結節する場所としてのノード性**
・様々な街道、河川が結び合う場所。江戸・東京の東郊だけでなく、下総や北関東からの交流の結節点。
- ②都市・農村の両義性**
・微高地上に農業を生業とする集落によって開発。門前は周辺の農家が副業的に設けた生業の店舗が立地することで発達。
- ③参詣客を意識して変貌してきた建築・空間の流動性**
・参道店舗の店先での動きのある商いの風景や帝釈天境内の諸堂の移築と増改築による伽藍配置。

出典：葛飾柴又の文化的景観保存計画(平成30年3月改訂版)

【川甚敷地に整備されていた庭園や生簀】

- かつて川甚の敷地内には、池を配した美しい和風庭園が整備されており、伝統的な川魚料理の生業を物語る生簀の石組みも備わっていました。



2. 川甚跡地の活用及び整備に関する前提条件と整備方針

(1) 川甚跡地整備における空間づくり（※中間報告P25）

- 「葛飾柴又の文化的景観」の紹介、柴又の風情に溶け込む空間づくり
 - ・敷地全体の和の風情を基調とした統一感のある空間
 - ・生簀の石組を活用した和風庭園等を設け、柴又の伝統的な生業である川魚料理などの柴又の食文化の紹介
 - ・敷地内だけにとどまらず、雄大な江戸川の河川景観や東京都選定歴史的建造物である山本亭を有する柴又公園との一体性の演出
 - ・江戸川の河川空間との新たな連続性の創出と、江戸川の開放的な空間へと人々を誘う動機付けとなる空間
 - ・人にやさしい観光地柴又を築いていく一助となる空間

(2) 川甚跡地整備に関するこれまでの検討状況

- ① 全体
 - ・文化的景観の位置づけを踏まえた整備とする。
- ② 敷地・外構
 - ・イベント等で様々な活用ができるような空間とする。
 - ・大型バス等の乗降場所及び身障者用駐車場を設ける。
 - ・公衆トイレを設ける。
 - ・生簀の石組を活用した和風庭園等を設け、柴又の伝統的な生業である川魚料理などの柴又の食文化を紹介する。
 - ・植栽を施す。土手への眺望に配慮する。
- ③ 1階フロア

【導入機能】「区内産品等の展示・販売」「観光案内・情報発信」「お休み処・喫茶」「歴史文化の紹介」

 - ・参道の商品は販売せず展示のみとし、参道での購入につながるようにする。
 - ・喫茶等休憩スペースを設ける。
- ④ 2階フロア

【導入機能】「文化的景観の紹介」「川甚や柴又の歴史文化の紹介」「体験・展示コーナー」

 - ・文化的景観や柴又の歴史を紹介するフロアとする。
- ⑤ 3階フロア

【導入機能】「多目的スペース」

 - ・イベントや地元の会合など様々な利用が可能となるスペースとする（可動式の仕切りなどを想定）。

(3) 川甚跡地の屋外空間の整備方針とゾーニング（案）

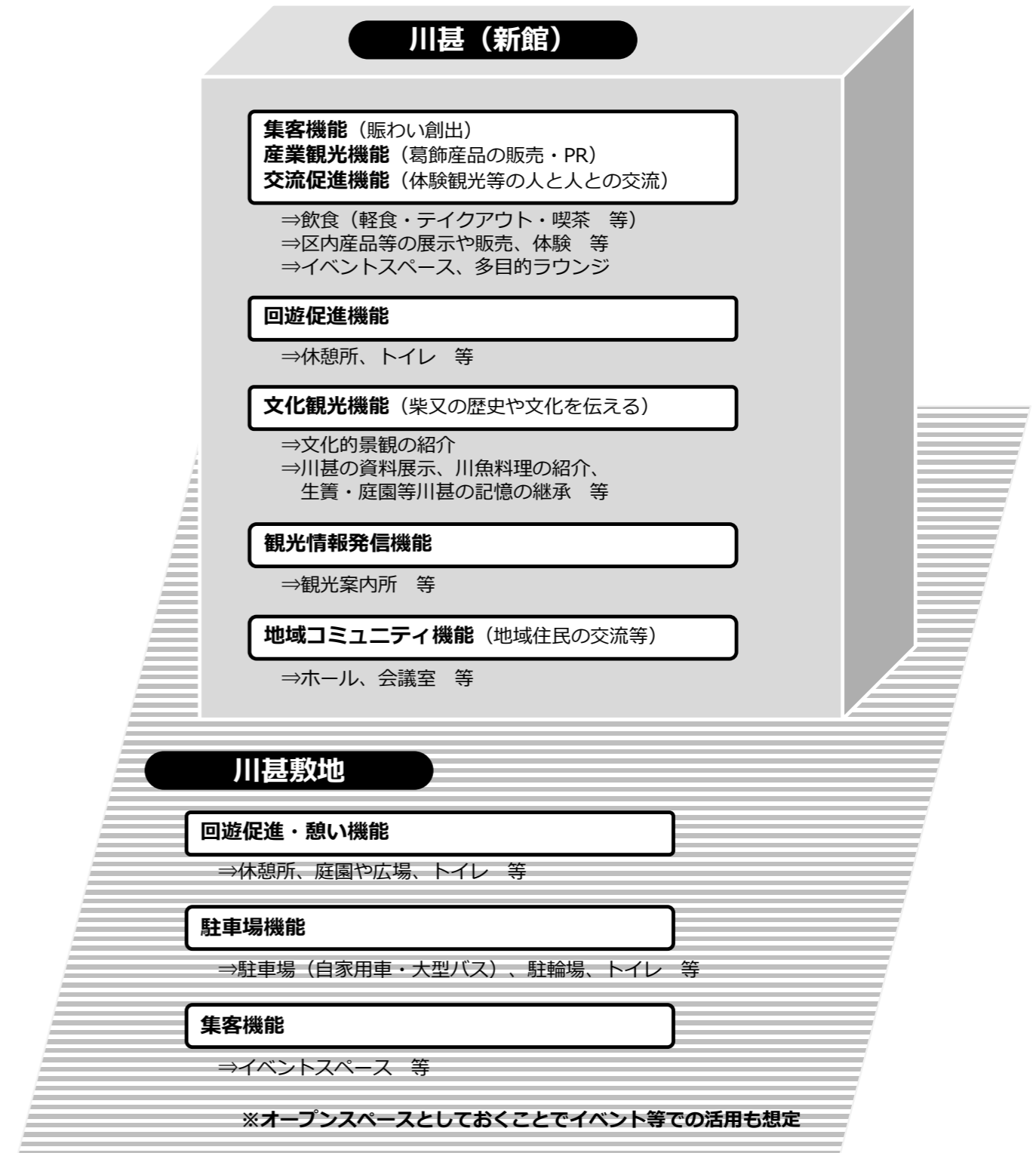
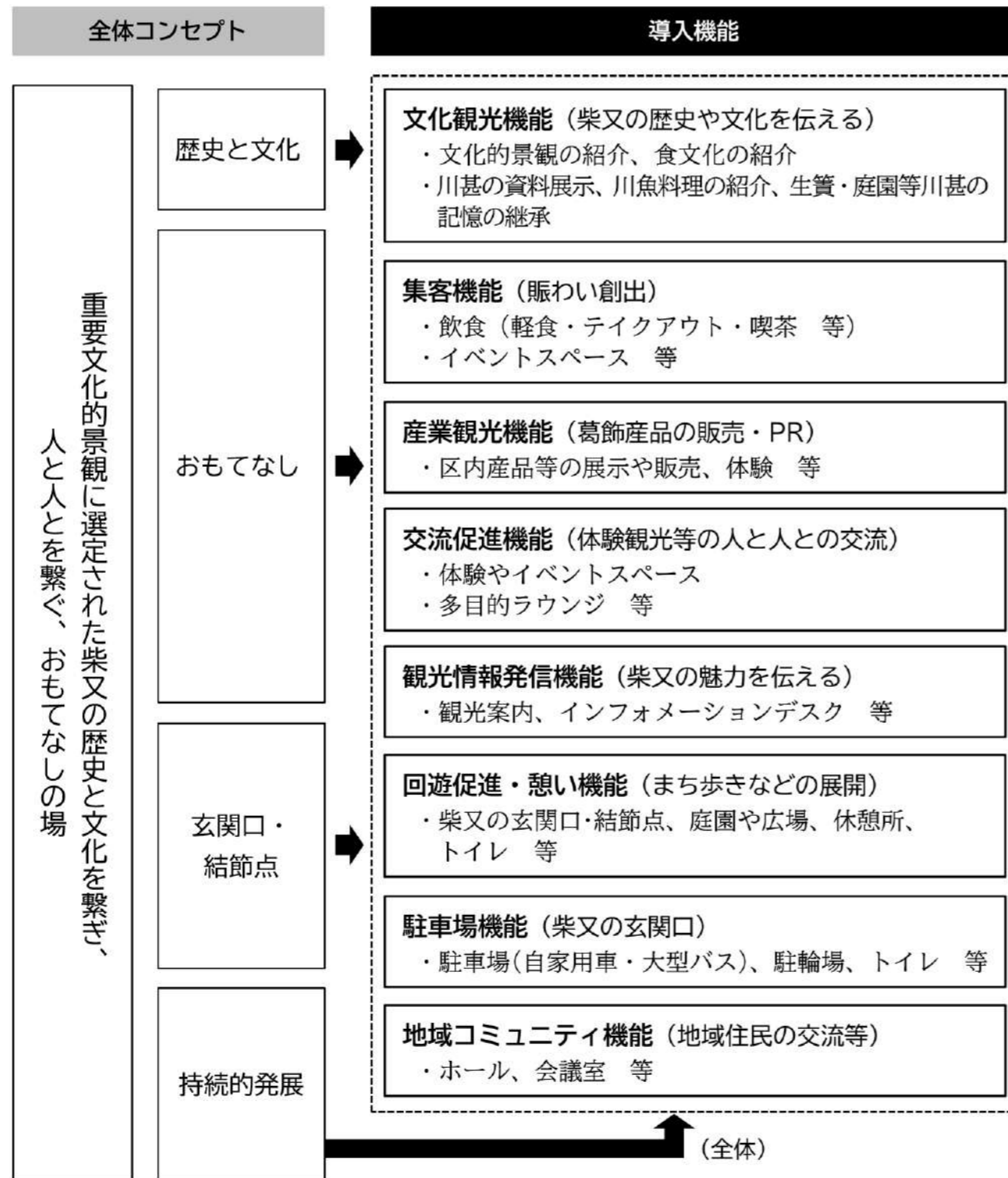
「整備方針（案）」

- ◆文化的景観の位置づけを踏まえた江戸川とのつながりや歴史・文化を感じさせる場づくり
 - ・既存の生け簀を活用した、柴又の緑と水の風情や歴史が感じられる和風庭園
 - ・江戸川との結節点となる来訪者の引き込み
- ◆柴又の新たな顔としておもてなしを感じる賑わいと回遊の拠点となる場づくり
 - ・江戸川（土手）とのつながりや開放感が感じられる芝生の憩い空間
 - ・連続性とおもてなしを感じる一体的なしつらえ（緑の連続性、周辺との一体性、土手への回遊性）
 - ・ハレとケを楽しめる多様な利用に対応した空間

「ゾーニング（案）」



(4) 全体コンセプトと導入機能



※本イメージ図は、本検討会における検討素材です。実際の設計内容を表したものではありません。

イベント利用や憩いに対応した広場

《平常時》

- ・来訪者がゆっくりくつろいだり、子どもたちが遊んだりできる憩い空間

《イベント時》

- ・キッチンカーやマルシェ、ビアフェス、大道芸などのイベント開催



大型バス等に対応した乗降スペース

- ※来訪者の乗降用スペースとして、車両は土手の柴又公園等に駐車を想定



回遊促進機能

憩い機能

駐車機能

植栽

- ・道路沿いの並木による江戸川への連続性の創出

江戸川・柴又公園→



緩やかな傾斜でつなぐ江戸川土手とのつながり

- ・土手への開かれた眺望の確保
- ・和風庭園を感じながら休憩できる芝生広場



柴又の風情や歴史を感じる和風庭園

- ・かつての川甚の生業を物語る生簀を再現し、井戸枠と灯籠を用いた演出



風情を感じる植栽

- ・植栽を眺めることのできる芝生広場



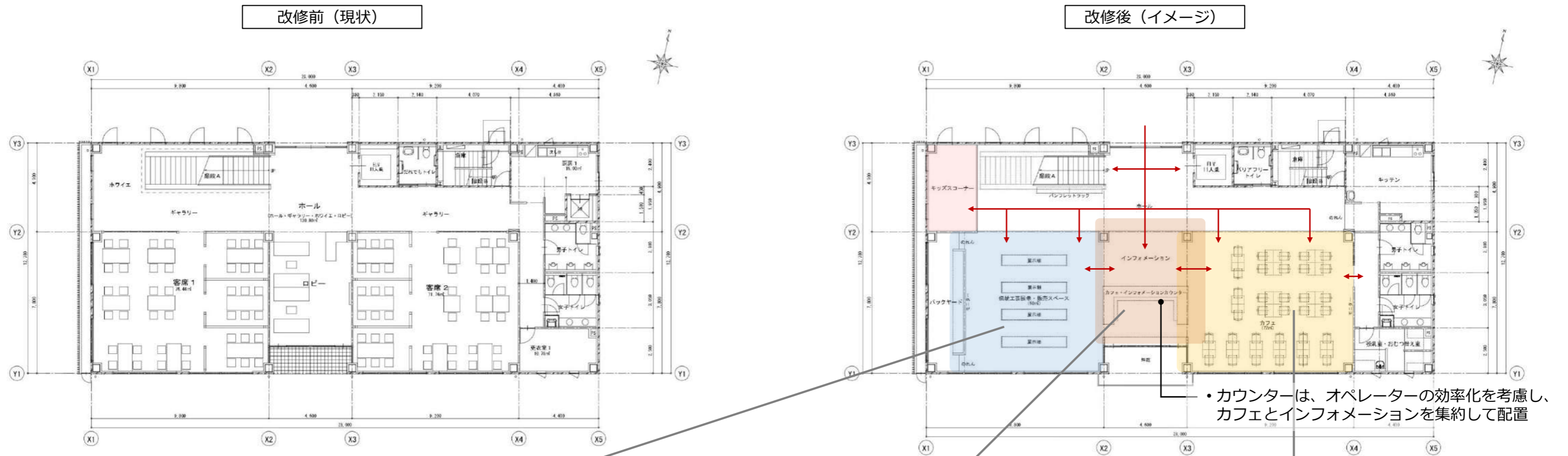
公衆トイレ及び倉庫の設置(併設)

- ・景観に配慮した清潔なトイレ
- ・倉庫

4. 川甚新館の各フロア整備イメージ (案)

※本イメージ図は、本検討会における検討素材です。実際の設計内容を表したものではありません。

【1階フロア】葛飾柴又の心温まるおもてなしフロア



<p>伝統産業等、 参道商店の紹介</p> <p>【使い方シーン】葛飾ならではのお土産を購入する 【活用イメージ】伝統産業品等の販売、参道商店の紹介</p>	<p>産業観光機能</p>	<p>観光案内・ 情報発信</p> <p>【使い方シーン】観光情報を集めに訪れる 【活用イメージ】インフォメーションカウンター、観光情報の発信ツールなど</p>	<p>観光情報発信機能</p>	<p>お休み処・喫茶</p> <p>【使い方シーン】街歩き途中や最後にひと休み 【活用イメージ】ベンチ、キッズスペース、カフェスペースなど</p>	<p>集客機能</p>
---	----------------------	---	------------------------	--	--------------------



区内産品等の販売コーナー



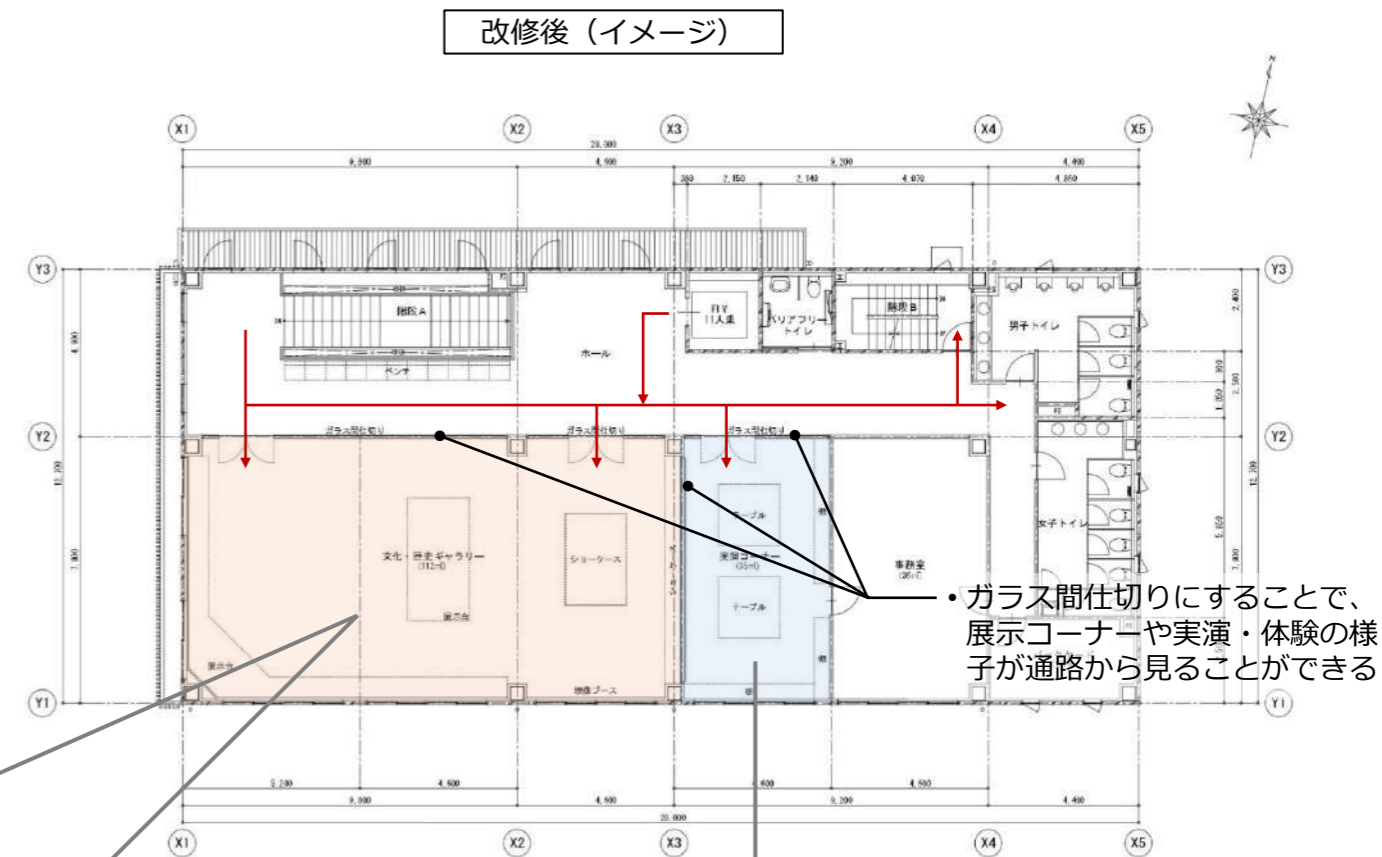
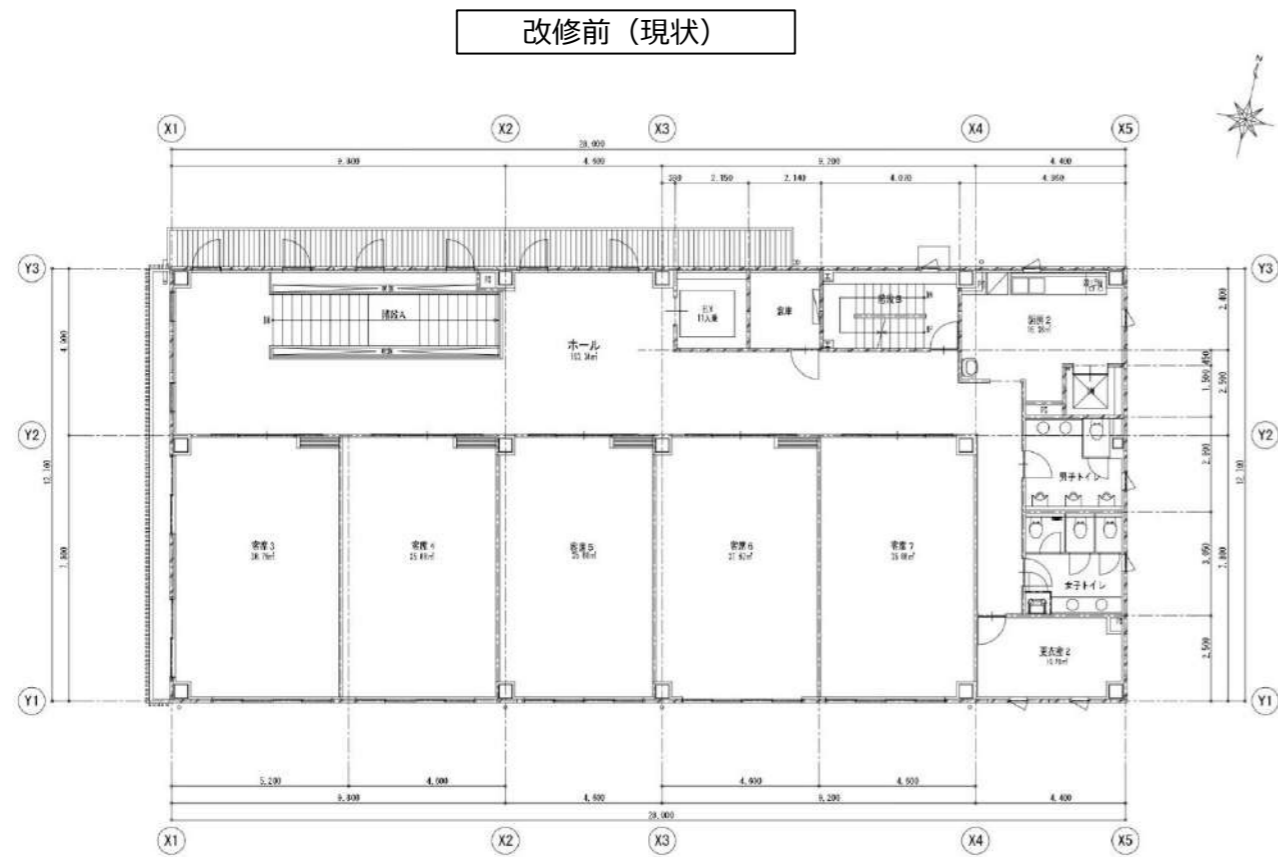
パンフレットコーナー



カフェスペース

※本イメージ図は、本検討会における検討素材です。実際の設計内容を表したものではありません。

【2階フロア】 葛飾柴又の歴史と文化を繋ぐフロア



文化的景観の紹介
川基など歴史文化

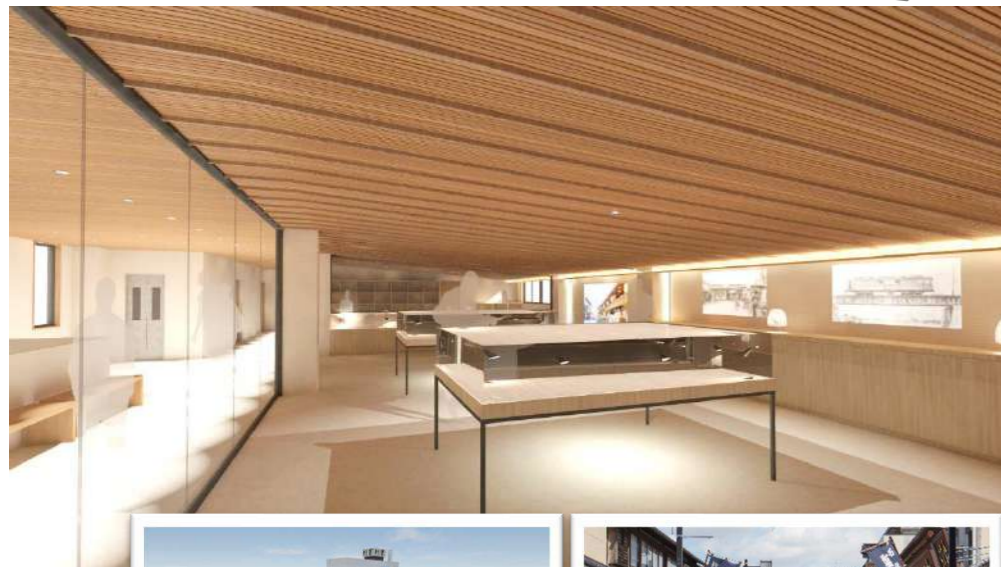
文化観光機能

【使い方シーン】 柴又の歴史や文化に触れる、文化的景観を学ぶ
【活用イメージ】 柴又や川基の歴史や文化の紹介展示 など

体験・
展示コーナー

交流促進機能

【使い方シーン】 柴又の歴史や文化に触れる、柴又ならではの体験メニューを楽しむ
【活用イメージ】 伝統産業の体験コンテンツや参道の産品づくり など



川基本館の記録保存3Dデータ



文化的景観のガイダンス



柴又と葛飾・柴又の歴史文化



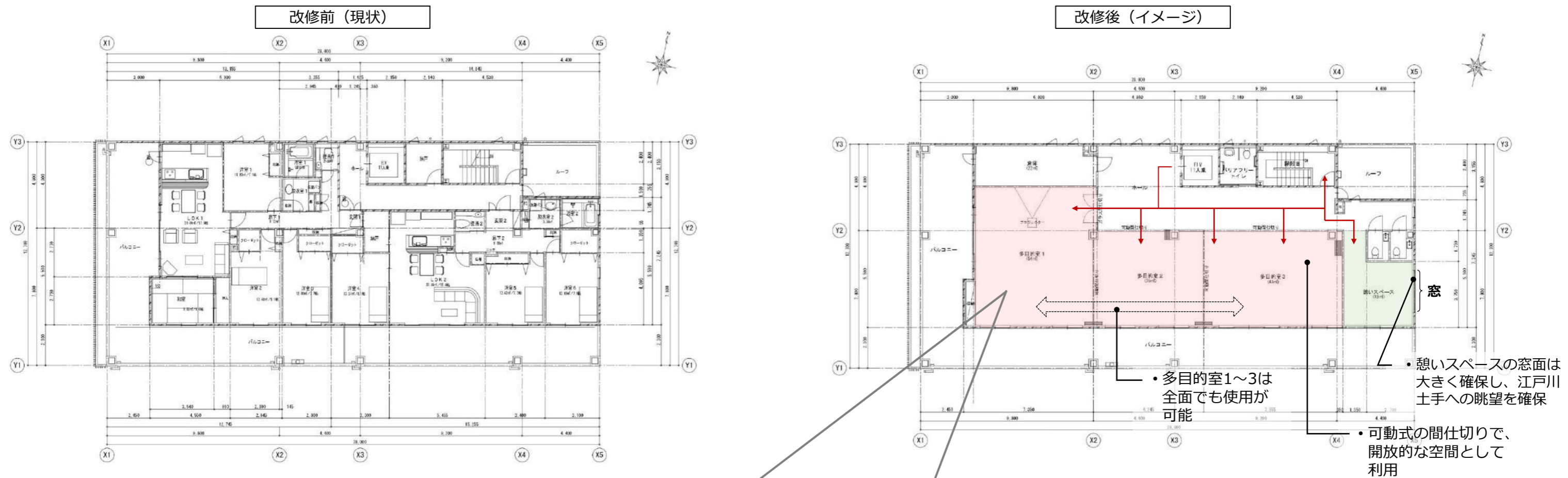
和菓子作り体験



伝統工芸体験

※本イメージ図は、本検討会における検討素材です。実際の設計内容を表したものではありません。

【3階フロア】人と人を繋ぎ、新たな交流を生み出すフロア



【使い方シーン】多彩な催し物を楽しむ
 【活用イメージ】ライブ、映画会、展示会、地元団体の会合、サークル活動、セミナー等



映画等の鑑賞会

日本酒やワインなどの試飲会イベント

地域のサークル活動